

入院診療計画書

様 入院日： 年 月 日 病棟： 号室
 病名・症状：
 担当看護師：
 総合的機能評価：
 バス名： 大股骨頸部骨折 人工骨頭挿入術
 担当薬剤師：
 担当栄養士：

西暦 年 月 日 やわたメディカルセンター
 担当医：
 西暦 年 月 日 印 看護師：
 患者様・ご家族様サイン

期間 経過	No	未定 手術前日	未定 手術当日(手術前)	未定 手術当日(手術後)	未定 術後 1 日	未定 術後 2 日	未定 術後 3～6 日	未定 術後 7 日	未定 術後 2 週目	未定 術後 3 週目	未定 術後 4 週目 ～ 退院	未定 退院(術後6週間後)
達成目標	P	●患者及び家族が手術の目的、方法、合併症について理解できる。 ●ベッドから転落しない。	●手術に対しての不安が最小限である。	●麻酔から覚醒する。 ●安静臥床ができている。 ●苦痛を訴えることができる。 ●患部に異常が見られない。 ●深部静脈血栓を起こさない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部に異常が見られない。 ●転倒しない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部に異常が見られない。 ●転倒しない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部に異常が見られない。 ●転倒しない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部に異常が見られない。 ●転倒しない。	●日常生活動作が安定する。 ●外出・外泊ができる。 ●退院できる環境が整う。 (自宅・施設・サービスなど) ●転倒しない。	●受傷前の状態に近づき、退院できる。 ●【退院の基準】 ●補助具歩行50mが可能、排泄動作が可能、入浴が介助のもと可能になれば退院となり、介護保険サービス等でのリハビリテーションへ移行します。	●退院後のイメージを立てられる。 ●退院先での生活動作の確認ができる。 ●退院できる環境が整う。 ●補助具の準備ができる。	●退院後の注意事項を理解し退院できる。 ●退院後の自主運動を習慣化している。 
退院基準	P										●【退院の基準】 ●補助具歩行50mが可能、排泄動作が可能、入浴が介助のもと可能になれば退院となり、介護保険サービス等でのリハビリテーションへ移行します。	●退院時間は、9:30まで にお願いしております。
活動・安静	P	・ベッド上で安静が必要です。  ・骨折した方の足は、枕を使って高くします。		・手術室から病室に戻った後、翌朝までベッド上で安静が必要です。  ・手術をした方の足は、枕を使って高くします。	・ベッドから降りる練習をし、車椅子に座ることができます。 				●外出、外泊許可。 ・外出・外泊を行い、退院後の生活環境に慣れていきます。 			●介護保険サービス等でのリハビリテーションへ移行します。 
栄養(食事)・排泄・清潔	P	・手術前日までは食事、水分はいつも通りです。 ●手術前日の21時から食事は食べられません。アメ、ガムも食べられません。水、お茶、スポーツドリンクのみ飲めます。  ・必要に応じて、尿の管が入ります。 ●特別な栄養管理の必要性【有・無】	●手術が午前の場合は6時まで、午後の場合は8時まで水分を摂ることができます。以降は食べたり飲んだりできません。 ・内服薬がある場合は6時に少量の水で内服してください。 ・必要に応じて尿の管が入ります。 ・必要に応じて身体を拭いたり洗髪を行います。	・朝から食事を食べることができます。 ・痛みやリハビリの状況をみながら尿の管を抜きます。 ・トイレかポータルトイレにて排泄します。 ・蒸しタオルで身体を拭き、更衣をお手伝いします。 ・傷口がフィルムになればシャワー浴ができます。 				・1週間程で4階の回復期リハビリ病棟へ移ります。 ・抜糸後、創部に異常がなければ入浴ができます ・状態に合わせて、機械浴、小浴室の設定をします。 			●自宅での入浴が可能となります。	
治療・処置・検査・説明・指導	P	★手術予定時刻 時頃 ・口の周りの髭は全て剃ってください。 ・深部静脈血栓の予防のため、下肢の血流を良くする足をマッサージする機械を装着します。 	・上着は着用せずに手術衣に着替えます。  ・手術前から、点滴をおこないます。 【▼注意！】 ・直前までに、指輪、入歯、時計等の装飾品や眼鏡、ヘアピン、入れ歯を外してください。 ・手術時間は平均30分～1時間です。 ・部屋にもどる時間は1時間半から2時間半程です。	・帰室時より酸素マスク・心電図モニターをつけます。主治医の指示に従います。  ・ベッド上でも足首、足指を動かすようにしましょう。痛みが強い時は鎮痛剤を使用することができますので、我慢せずにお伝え下さい。 ・採血があります。	・創部のガーゼを交換します。  ・ベッド上でも足首、足指を動かすようにしましょう。痛みが強い時は鎮痛剤を使用することができますので、我慢せずにお伝え下さい。 ・採血があります。		・手術後3日に傷口の消毒を行います。 	・抜糸します。埋没縫合の場合は、抜糸はありません。フィルムを除去して、傷口の状態を確認します。  ・採血があります。	・手術した部位のレントゲン撮影、採血があります。 ・回復期病棟転入時に再度、面談させていただきます。 ・介護保険の有無や期限・家屋状況 ・どの程度介護の協力が得られるか等	・手術した部位のレントゲン撮影、採血があります。 	●補助具歩行50mが可能、排泄動作が可能、入浴が介助のもと可能になれば退院日を決定します。 ●退院後の生活についてご説明します。 ●再診日は退院日が決定したら医師より指示がでます。 	
内服・注射	P				・深部静脈血栓予防のため、夕食後から内服が始まります。 							
作業療法	P	・生活状況の情報収集を行います。 ・必要に応じて認知面の評価を行います。			・痛みに応じて起き上がりや車椅子への乗り移りの練習を行います。 ・認知面の低下予防にかかわっていきます。		・排泄以外の日常生活動作の練習を行います。		・退院後の生活に備えて日常生活動作の練習を行います。 ・受傷前の状態に戻る事が難しい場合もあるため、必要に応じて家庭訪問を行い、退院の準備を行います。		・自宅の環境や生活上のアドバイスを行います。	
理学療法	P	・血栓予防のための足首の運動を説明します。			・医師の許可があれば、手術した足に体重をかけることができます。 ・術後、骨折部が不安定な場合は4週間足に体重をかけられない場合があります。	・受傷前の状態に合わせたリハビリを行います。 (歩行練習や、トイレの練習など)					●介護保険サービス等でのリハビリテーションへ移行します。 ・家庭でできる自主運動を紹介します。	